

北播磨地域ビジョン委員会だより

第7号

ほっぽ

北歩くんが行く



北播磨の魅力発信は
僕にお任せ!



ラベンダーパーク多可(多可町)



にしわざ経緯度地球科学館 テラドーム(西脇市)



闘竜灘(加東市)



北条鉄道(加西市)

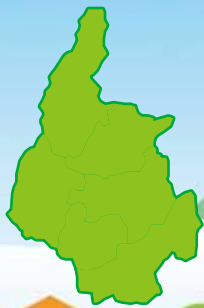


ひまわりの丘公園(小野市)



御坂サイフォン橋(三木市)

北播磨地域ビジョン委員会



“ひょうごのハートランド” をめざして

「北播磨地域ビジョン2020」5つの地域像

「まちむら交流」で活力を育む

北播磨地域ビジョン委員会では、北播磨の魅力ある地域資源、構造、交通、気候、風土を生かし、「北播磨」らしさを発揮する地域づくりをめざし、5つの分科会（グループ）に分かれて実践活動を行っています。

生活の絆が深まる分科会

絆の力で安全・安心を支える

交流が広がる分科会

元気な産業が興る分科会

だれもが生きがいを
持って働ける

文化が花開く分科会

芸術・文化を暮らしに
生かす

“ひょうごの
ハートランド”

**恵み豊かな環境が
持続する分科会**

豊かな自然・生態系の
調和した暮らしが持続する

- ひょうごの真ん中の豊かな地域
- 動と静—交通と文化が交わる地域
- 志(こころざし)の集まる地域

第10期北播磨地域ビジョン委員会

北播磨5市1町（西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町）にかかわる55名が、「北播磨をこんな地域にしたい」という夢を持ち、「北播磨地域ビジョン2020」を実現するために集まりました。

第1回全体会 令和2年7月4日（土）

ポストコロナ社会を見据えた『兵庫から新たな未来を創る』と題した金澤副知事の講演の後、第10期の委員長、副委員長を選任しました。活発な意見が交わされ、委員の皆さんの今後の活動に対する期待と熱い思いがあふれていました。



山本和樹委員長



依藤順子副委員長



中野典子副委員長



金澤和夫副知事



（小野市うるおい交流館エクラにて）

専門委員



兵庫教育大学大学院
教授
田中 雅和



多可町ベルディーホール
顧問
奥村 和恵



兵庫教育大学大学院
教授
松本 剛



関西国際大学人間科学部
教授
清水 美知子

・西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町 各企画担当課長

分科会紹介

交流が広がる 分科会



分科会長
木多見 哲夫

これまでの活動

(令和3年1月まで)

7月4日(土)	第1回交流分科会
7月29日(水)	第2回交流分科会
8月25日(火)	第3回交流分科会
9月30日(水)	第4回交流分科会
10月21日(水)	第5回交流分科会
10月24日(土)	講演会聴講・現地見学会
11月14日(土)	講演会聴講
11月24日(火)	第6回交流分科会
12月24日(木)	第7回交流分科会
1月21日(木)	第8回交流分科会



交流が広がる分科会は、「まちむら交流」で活力を育む地域をめざします。

今期の活動方針として北播磨を南北に貫く東経135度「子午線」をテーマに展開することとしました。

活動方針を「子午線物語」としてネーミングし、まずは子午線の勉強として明石市の市民講座「子午線街道をゆく」を聴講し、関係する明石市立天文科学館、柿本神社等を見学してきました。

2021年は日本標準時子午線が制定されて135年、東経135度と関連させて西脇市内で子午線にまつわる講演会やマイクロツアー等を考えています。

くらし

生活の絆が深まる 分科会



分科会長
山口 敏夫

これまでの活動

(令和3年1月まで)

7月4日(土)	第1回生活分科会
8月6日(木)	第2回生活分科会
8月27日(木)	第3回生活分科会
9月17日(木)	第4回生活分科会
10月1日(木)	第5回生活分科会
11月12日(木)	第6回生活分科会
12月10日(木)	第7回生活分科会
1月7日(木)	第8回生活分科会



生活(くらし)の絆が深まる分科会は、絆の力で安全・安心を支える地域をめざします。

災害弱者である高齢者・障害者・子ども・外国人等が災害発生時に直面する、避難行動や避難所等における困難な課題について、地域でどう支援すべきかを考え、みんなで助け合う絆を深めます。

そのために、災害弱者が直面する困難な課題をビジョン委員が理解し、将来、防災講座や寸劇の実施により、支援策をPRしていきます。

さらに、地域のイベント等に参画し、防災クイズや非常食の展示等を通じて、災害支援に役立つ知識・技術をPRすることを計画しています。

文化が花開く 分科会



分科会長
内藤 能民

これまでの活動 (令和3年1月まで)

- 7月4日(土) 第1回文化分科会
- 7月30日(木) 第2回文化分科会
- 8月27日(木) 第3回文化分科会
- 10月16日(金) 第4回文化分科会
- 12月10日(木) 第5回文化分科会
- 1月21日(木) 第6回文化分科会



文化が花開く分科会は、芸術・文化を暮らしに生かす地域をめざします。

今期は、伝統文化や郷土の歴史に、若い人や在日外国人などの多くの人にふれていただき、北播磨の良さを感じてもらいたいと考え、北播磨の“伝統的祭り”の外国語冊子づくりと郷土歴史セミナーや現地学習会の開催などを計画しています。また、心豊かな潤いのある地域づくりをめざして、北播磨ゆかりの音楽家・芸術家の演奏会や講演会などの開催を検討しています。

恵み豊かな環境が 持続する分科会



分科会長
大嶋 俊英

これまでの活動 (令和3年1月まで)

- 7月4日(土) 第1回環境分科会
- 7月13日(月) 第2回環境分科会
- 8月11日(火) 第3回環境分科会
- 8月30日(日) あびき湿原観察会
- 9月8日(火) 第4回環境分科会
- 10月13日(火) 第5回環境分科会
- 11月10日(火) 第6回環境分科会
- 12月11日(金) 第7回環境分科会



恵み豊かな環境が維持する分科会は、北播磨の豊かな自然や住みよい環境が、将来に渡って持続するように啓発や実践活動をすることをめざします。

今期の取組は、世界的にも問題になっている「プラごみ」「海ごみ」の削減活動です。四方を山に囲まれている北播磨で海ごみ？と思われるかもしれませんが、実に海ごみの7割以上が陸由来なのです。現在、足元の状況がどうなっているのかを学び、調査し、プラごみを減らす啓発活動につなげていく予定です。

元気な産業が 興る分科会



分科会長
藤本 富子



元気な産業が興る分科会は、安全・安心な「農」と「食」の普及と北播磨地域の「農」の活性化をめざします。

今期は、無農薬・無化学肥料で農作物を栽培されている農家を応援する活動に取り組んでいます。活動内容として今期に4回程度、安全・安心な「農」と「食」の勉強会を予定しており、第1回は令和3年3月に神戸大学名誉教授の保田先生を講師に、「有機農業の理念と栽培方法（仮称）」について学習会を開催する予定です。また、令和3年度には日本の食について考える場として「食と健康を考えるフォーラム」の開催を計画しています。

これまでの活動

(令和3年1月まで)

- 7月4日(土) 第1回産業分科会
- 7月27日(月) 第2回産業分科会
- 9月4日(金) 第3回産業分科会
- 10月1日(木) 第4回産業分科会
- 11月6日(金) 第5回産業分科会
- 12月3日(木) 第6回産業分科会
- 1月14日(木) 第7回産業分科会

活動紹介

(令和3年1月まで)

交流が広がる分科会

- 吉野健一氏講座
「子午線街道を行く」を聴講
(10月24日(土)・11月14日(土))



- 「子午線物語」現地見学会
明石市立天文科学館など
を見学 (10月24日(土))



恵み豊かな環境が持続する分科会

- 加西市あびき湿原観察会
(8月30日(日))
- 「Microplastic Madness」(プラスチック汚染問題の解決にNYの小学生が立ち上がるドキュメンタリー映画)上映会
(10月13日(火))
- 県立神戸商業高等学校の海ごみゼロに向けた理科研究部の活動について 石川正樹氏 講義
(12月11日(金))



北播磨郷土料理レシピブックの作成

分科会の枠を超えて集まった仲間で、北播磨の郷土料理や地域の特産品を使った料理のレシピ本作成に挑戦しています。

「北播磨らしさ」を感じさせるメニューを考え、試作し、冊子にまとめます。今年度は冬・春の料理レシピを作成。来年度に、夏・秋のレシピを加えて完成予定です。お楽しみに！



北播磨地域ビジョン委員会の活動は
Facebook や ホームページ で
情報発信しています！



Facebook



ホームページ



「音風景」

北播磨地域ビジョン委員会

検索



北播磨地域ビジョン2020

～これまでの取り組みの一部を紹介します～



交流

北播磨親子ふれあいウォーキング (H24・H25)



生活

「命の教育」講演と心肺蘇生法・AED実技講習会 (H24・H25)



環境

「和と輪の花壇」飾栽・管理活動 (H24)



環境

資源循環型バイオマス「堆肥化」(H24)



産業

「食と健康勉強会」(H25・H26)



環境

「和と輪の花壇」植栽 (H25)



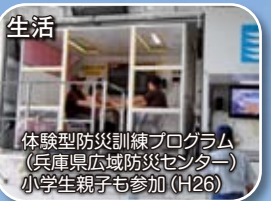
文化

「模尾忠則現代美術館」の視察 (H26)



産業

「頑張る個人・グループ紹介MAP」第2版の作成 (H26・H27)



生活

体験型防災訓練プログラム(兵庫県広域防災センター)小学生親子も参加 (H26)



交流

うれしの春のフェスティバル (H28)



環境

兵庫県森林動物研究センター視察 (H28)



交流

「キャラクターフェスティバルinかとう」(東条湖おもちゃ王国)に出演 北播磨をPR (H26)



環境

ケナフの栽培、活用をPR (H25・H26)



環境

加古川水系の水質調査 (H25・H26)



産業

保田ほかし健康野菜づくり勉強会 (H28・H29・H30・H31)



産業

6次産業化に取り組む「加東オリーブ園」現地調査 (H28)



産業

人と環境に優しい有機農業講座 (H28・H29・H30)



生活

防災日めくりカレンダー製作 (H28) 地域の子ども園、保育所に配布



文化

「北播磨の音風景50選」制作と発信 (H29)



交流

北谷川さくらウォーク (H29)



生活

兵庫県広域防災センター地震体験 (H29)



産業

県立播磨農業高等学校現地研修 (H29)



環境

「ひよご森のまつり」出展 (H29)



産業

「農」と「食」の祭典」出展 (H29・H30・R1)



産業

保田茂氏・有機農業園場現地見学会 (H29)



環境

森林セラピー体験(宍粟市森林王国) (H29)



文化

「湯の山街道と三木周辺の歴史探訪」(H29)



文化

「現代美術講座」講師:向井修二氏 (H29)



環境

自然を食べよう(摘み取り会) (H31)



交流

北播磨の戦跡ツアー (H31)



文化

「音風景を巡る旅」小野・三木 (H31)



文化

「音風景を巡る旅」西脇・多可 (R1)



文化

「音風景を巡る旅」加西・加東 (R1)



環境

「ふれあいフェスティバルin北播磨」出展 (R1)



交流

三木鉄道廃線跡地ウォーク (R1)



生活

「みらフェス」防災ブース出展 (R1)



産業

南あわじ市有機農業園場見学 (R1)



産業

保田茂氏有機農業講座 (R1)

北播磨新地域ビジョンの策定

2001年の「北播磨地域ビジョン」策定から20年、2011年の「北播磨地域ビジョン2020」の改訂から10年が経過しました。この間に、少子高齢化、人口減少、IT技術の進歩など、世界も日本も大きく変化していることから、現行ビジョンに代わる新しい将来ビジョンの策定に着手しました。

新ビジョン策定にあたっては、「参画と協働」により様々な形で地域の皆さんの意見を反映させるため、「北播磨地域ビジョンアンケート」、「ビジョンを語る会」、「北播磨の未来を描くワークショップ」などを実施しました。それらをもとに、30年後(2050年)の北播磨地域の進むべき将来像を示す「北播磨“新”地域ビジョン」を策定します。

(令和4年3月策定予定)

北播磨地域未来フォーラム



テーマ

子どもたちに残したい北播磨

～2050年 輝く北播磨の姿を描こう～

地域で頑張る2つの団体の発表を踏まえて、北播磨地域の未来について語り合います。

日時：令和3年2月20日(土)

場所：兵庫県北播磨県民局
社総合庁舎会議室

[プログラム] (オンライン活用)

開会 主催者挨拶・趣旨説明

第1部 地域づくり活動団体事例発表

- (1) 兵庫県立西脇高等学校地学部・生物部
- (2) 河高地域づくり委員会(加東市)

第2部 北播磨の未来を語り合おう

- (1) 新全県及び新地域ビジョン検討状況の説明
- (2) グループ討議 テーマに分かれ地域の将来について意見交換

【討議テーマ】 ①交流が広がる ②生活の絆が深まる ③文化が花開く
④恵み豊かな環境が持続する ⑤元気な産業が興る



西脇高等学校地学部・生物部 (出前授業)



河高地域づくり委員会 (コスモスマつり)

「北播磨の未来を描くワークショップ」

「北播磨地域に住む、働く、学ぶ『これからを担う』若い世代」が集まり、互いに北播磨への想いを語り合い、それぞれの希望をまとめ上げて、30年後の理想の「北播磨の未来」をデザインしました。



- | | | | |
|-----|-----------|------------------|----------------|
| 第1回 | 9月27日(日) | 三木市立市民活動センター | 「北播磨らしさを探る①」 |
| 第2回 | 10月11日(日) | 加西市民会館 | 「北播磨らしさを探る②」 |
| 第3回 | 10月25日(日) | 西脇市茜が丘複合施設Miraie | 「目指したい北播磨の未来①」 |
| 第4回 | 11月8日(日) | 加東市滝野文化会館 | 「目指したい北播磨の未来②」 |
| 第5回 | 11月29日(日) | 小野市うるおい交流館エクラ | 「将来像の言語化」 |

北播磨新地域ビジョン策定に向けての取り組みについては「北播磨地域ビジョン」のホームページでもご覧いただけます。

- 「北播磨の未来を描くワークショップ」
- 「ビジョンを語る会」
- 「北播磨新地域ビジョン検討委員会」



“ひょうごのハートランド”をめざして

「北播磨地域ビジョン」では、地域にかかわる人々が夢を持って元気にきらめいている姿、北播磨地域を構成するそれぞれのまちが魅力にあふれている姿、そして、ひとやまちが支え合うことでそれぞれの力を高めあう姿を、一人ひとりが自由にイメージするための言葉として、「ひょうごのハートランド」が提案されました。

==== 一人ひとりが主人公になり、自分のライフスタイルを大切に、必要なものや本当の豊かさを自由に選択しながら、まわりの人と支えあい、つながり、だれもが自分の夢をかなえていく。====

北播磨地域ビジョン委員会は
「ひょうごのハートランド」を合い言葉に、さまざまな活動に取り組んでいます。

北歩くんの紹介

北播磨地域ビジョン委員会
イメージキャラクター



【仕事】北播磨を歩き、地域の魅力を地域内外に発信します。いろんなイベントで活動しています。

【体】北播磨の5市1町からできています。カプトムシから生まれた男の子です。

頭：多可町
顔：西脇市
胸（胸）：加東市（腹）：小野市
足：三木市

リュックサック：加西市

【色】
緑：恵み豊かな自然
青：加古川などの清流
黄：住民の元気、活気
赤：ビジョン委員の熱い思い
茶：豊かな稔りをもたらす大地

第10期北播磨地域ビジョン委員会

委員長 山本 和樹



コロナ禍は、人々の生き方や働き方に対する価値観に大きな変化をもたらしました。地域経済にも大きな影響を与え、現在、私達を取り巻く社会は混乱の渦中にあります。加えて、いつ起こるかわからない大規模災害や、既に到来している超高齢社会など、地域は様々な課題を抱えています。

一方、在宅勤務やWeb会議などの新しい社会環境は個人の時間をより有益なものとししました。自然豊かな地域への関心の高まりとともに、都市部からの移住希望者が増えてきています。

北播磨地域は、兵庫県のほぼ中央に位置し、美しく豊かな自然環境、歴史と地域に根付いた地場産業、国宝建造物など多彩な歴史・文化遺産にも恵まれています。この北播磨の魅力を広く発信し、元気で豊かな「北播磨らしさ」を発揮するために、第10期北播磨地域ビジョン委員会では、5つの分科会それぞれにテーマを決めて様々な取り組みをしています。今の私たちの活動が次世代の「希望」や「夢」につながることを願っています。引き続き、地域の皆様のご理解ご協力をお願いします。

おの桜づつみ回廊（小野市）

発行 令和3年2月
北播磨地域ビジョン委員会（北播磨県民局総務防災課ビジョン担当）
〒673-1431 加東市社字西柿1075-2
TEL (0795) 42-9513 FAX (0975) 43-0169
ホームページ [北播磨地域ビジョン委員会](#) [検索](#)

